

南関東ロジ労組

第14回定期大会開催



山田委員長

11月25日(月)、都内で開催され、今後の活動方針を満場一致で可決しました。

会を代表して挨拶に立った山田委員長は、「若い組合員が増えており、大変嬉しく思っている。私が若い時の考えと、今の若い人の考えでは違う部分があるが、若いうちには出来ない事は多くあり、失敗を恐れず何事にもどんどん挑戦してほしい。失敗して学ぶこともあり、一度しかない人生を楽しんで頂き、そのためにも、与えられた

仕事は、重大事故・重大労災が起こらないよう安全最優先の意識を高めて取り組んでもらいたい」と述べられました。



住吉局長

来賓には、JR連合住吉局長・関東地協今井議長・貨物連合辻村会長にお越し頂き、労働組合のあり方・2025春闘・安全課題・労働組合活動への参画推進・JR貨物グループに大きな影響を及ぼす政策課題、「2024問題・2027年アボルール改定・北海道新幹線札幌延伸・鉄道強靱化」・人口減少課題について、各々より述べて頂きました。



今井議長

続いて、宮本執行委員より、これまでの取組活動・財政関係・今後の活動方針を読み上げ、質疑では、東京タに導入されるセミオートフォークリフト・北海道脱線事故・輪軸不正等が出され、執行部より総括答弁を行い、その後、大会宣言案を読み上げ、最後に山田委員長による団結ガンパローで会を終えました。

定期大会終了後、懇親会を開催し、親睦をさらに深めました。



辻村会長

演壇



宮本委員

